

プレスリリース
報道関係者各位

2024年6月4日
和光会グループ

県下最大規模開催！！

地域の一員として何が出来る？

これからの未来を担う子どもたちと超高齢社会体験ゲーム「コミュニティコーピング」開催

～6月7日（金）、14日（金）の2日間で中学生約230人が挑戦します～

困っている人を見つけたら。悩みの理由に気付いたら。

あの人なら解決できるかも。自分が関わってあの人につなげようー。

「コミュニティコーピング」は、必要な時に必要な援助が届かずに悩みを抱える人に対して、地域資源やそこに暮らす人を巻き込みながら、力を合わせて問題の解決に導くボードゲームです。このゲームを通して、当事者にならないと気づきにくい問題を包括的に把握し、地域に暮らす一人として、「社会的処方」のプロセスを考えてもらう機会を提供します。

今回、このコミュニティコーピングゲームを大垣市立東中学校の1年生の生徒たちと一緒にを行います。



和光会グループには「コミュニティコーピング」認定ファシリテーターが6名在籍しており、定期的に体験会を開催しています。これまでに10回以上コミュニティコーピング体験会を開催し、参加人数は100名を超えています。

今回は岐阜県のSDGs推進課を通して当グループに依頼があり、大垣東中学校での開催が決まりました。6月7日（金）、14日（金）の2日間で約230人の生徒が参加します。

今回は、学生のみなさんがプレイヤーとしてまちの住民キャラクターになり、それぞれの得意なことを活かしながら、地域に暮らす人の話を聞き、仲間と協力して地域存続のゴールを目指して

いきます。

ゲームクリアは 10%以下と言われる中で、大人とは違った新しい発想でゴール達成に挑戦してもらいます。

そしてこのゲームが学生のみなさんの実生活においても「つながり」を大切にするきっかけになることを期待しています。

■開催概要

【日時】 2024 年 6 月 7 日(金) 13:20～15:10

2024 年 6 月 14 日(金) 13:20～15:10

【会場】 大垣市立東中学校（岐阜県大垣市三塚町 1169）

【対象】 1 年生生徒 約 229 名予定（6/7（金）：4 クラス、6/14（金）：3 クラス）

【ゲームファシリテーター】

6/7（金）

松田 拓郎（ファミリーコート北方／笑来北方 所長）

武藤 智幸（ファミリーケア加納 所長）

藤本 明美（ケアプランセンター寺田 統括リーダー）

折戸 裕信（リトル☆スター北方キッズ&ジュニア 所長）

鈴木 未沙（理事長室／SDGs 推進室 室長）

6/14（金）

松田 拓郎（ファミリーコート北方／笑来北方 所長）

武藤 智幸（ファミリーケア加納 所長）

鈴木 未沙（理事長室／SDGs 推進室 室長）

■リリースについての問い合わせ

和光会グループ

理事長室 村瀬真由

[TEL:080-8814-8107](tel:080-8814-8107) MAIL:m-murase@wakokai.or.jp

※取材については中学校への申し出が必要になります。事前に村瀬までご連絡ください。



↑過去の開催の様子（2024年3月）

■超高齢社会体験ゲーム「コミュニティコーピング」とは？

人と地域資源をつなげることで「社会的孤立」を解消する協力型ゲームです。

プレイヤーは「おせっかいおばちゃん」「自治会長」「カフェのマスター」など、実際に地域に住んでいる方になりきってプレイします。

ゲームは2021年からスタートし、1ターン（1年）ごとに、悩みを抱えた人が6つの地区のどこかで発生します。

プレイヤー同士は協力し、孤立する人たちから引き出したそれらの悩みを、専門家や地域の人たちにつなげていくことで「解決」していきます。

1つのターン終了ごとに、悩みが解決されていない人が同じ地区に4人以上とどまると、地域体制が崩壊し、ゲームオーバーとなります。

2021年から2030年末までの10年間、6つすべての地区を存続できるようにプレイヤーは協力しながらゲームクリアを目指します。

→公式サイト <https://comcop.jp/>